

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年4月16日公開 アミールより一言

(日本時間：4月17日午前2時)

偉大なる王の都エルサレムより、シャローム！こんばんは。背後には、エルサレム旧市街の壁がご覧いただけます。ようやく、ギリシャとイタリアから戻って来ました。今日は、最近の中東での出来事に関して明確にし、また、皆さんを励ましたいと思います。あと数分待ってから、短くアップデートしたいと思います。今回は、アップデートというよりも、アメリカによるシリア爆撃に関する私のアップデートをご覧になった方への、明確な説明と励ましが目的です。

ということで、もう一度、皆さんシャローム。エルサレムよりこんばんは。旧市街の壁が後ろに見えています。少し風が強いですが、私の声がよく聞こえていることを願います。今回は、ここ中東と、世界中で起こっている全ての事に関して、短い説明と、励ましのメッセージをお届けしたいと思います。では、お祈りしてから始めましょう。

お父様、あなたが全ての事を完全に支配しておられることに感謝します。

あなたは、あなたの子もたちに初めから終わりの事を告げられている事に感謝します。あなたは、まだなされていない事を昔から告げてくださいました。あなたの子もたちが、城壁の見張り人である役目を忘れず果たすためです。お父様、今夜偉大なる王の都エルサレムより、あなたを祝福し、あなたに感謝します。

イエスの御名によって。アーメン。

アーメン！

では、始めましょう。つい一時間ほど前、アメリカとイギリスのウェブサイトにおいて、大規模なサイバー攻撃が始まりました。これは、政府の資源が背後にある人でなければ、決して出来ない攻撃です。アメリカとイギリスは、数日前に彼らがシリアで行なった攻撃への報復として、ロシアが彼らに対して、激しいサイバー攻撃を行なっていると信じています。さらにお伝えしたいのは、ここ2~3時間の間に、アメリカ、イギリス、フランスが爆撃したいくつかの場所で、ブルドーザーが瓦礫の処理を始めました。そこで、私から明確な説明と励ましです。皆さんが要点を理解されることを願います。今朝、ブルドーザーが現れた時、誰も毒性のあるガスや物質から身を守るためのマスクや、防護服を身に付けていませんでした。そうでなく、実際、民間人の居住地域から、瓦礫を取り除いていたのです。それからもう一つ、皆さんに理解してほしいのは、アメリカ、イギリス、フランスは、周りにたくさんの方がいることを知りながら、サリンガスを蓄えている建物を攻撃するとは思いません。ここで要点をお伝えしますと、アメリカもイギリスもフランスも、皆、建物が空であることを理解している、と私は数日前にお伝えしました。彼らが送ったメッセージは、

「化学兵器を破壊する」

というものではなく、彼らのメッセージは

「我々は、何もせずに傍観するようなことはしない」

というものです。

バッシャー・アサドは、まだ化学兵器を所有しているか？

——疑いの余地はありません。

事実、ペンタゴン（アメリカ国防総省）は、彼がまだ所有していることに同意し、認めました。

彼らは、化学物質が蓄えられた建物を爆破したか？

——私はそうは思いません。

事実、彼らはしていません。そんなことをすれば、周辺の膨大な数の一般市民が死亡しますから。

ここで、このアップデートの理由を、皆さんは理解してください。理由は、実にシンプルです。

少数ですが、トランプ大統領を非難し始めている人がいます。

シリアに『つまらない攻撃』をしたと。

一つ、説明します。我々イスラエルは、トランプ大統領の当初の意図を知っています。初めは、シリアの空軍基地全部を破壊するつもりでした。施設を攻撃して、空軍をまだ無傷のまま残しておくなら、一体何の意味がありますか？最善なのは、これらの化学兵器を運び、民間人に投下するための飛行機を破壊することです。ですから、トランプ大統領の元々の計画は、アサドの空軍を破壊し、他のいくつかの政府軍施設を破壊する事で、あの三カ所の化学施設だけを破壊する事ではありませんでした。皆さん、理解しておいてください。イギリス、フランスだけでなく、マティス国防長官も、トランプ大統領に「これらの3つの標的の攻撃以外、一切拡大しないように」と明確にしたのです。ですから、私が心底信じているのは、トランプ大統領は——ところで、ネタニヤフ大統領もそれは知っていますよ——彼の意図は、結果よりもはるかに大きかったのです。また、私たちは理解しておかなければなりません。ここで何を批判しても意味がありません。私は何を言わんとしているのかというと、あなたが好むと好まざるとに関わらず、アメリカは御言葉には出て来ません。あなたが望むと望まざるにかかわらず、アメリカは、ロシア・トルコ・イランが関わるエゼキエル戦争には入っていません。ですから、皆さんは理解しなければなりません。トランプ大統領の、シリアから立ち退く計画、それからアメリカ・イギリス・フランスの非常に限られた中での攻撃は、事実、

「我々は、化学兵器攻撃のような大惨事が起きない限り、中東には介入しない。」

というメッセージを送っているのです。

「その時であっても、非常に限られた中で、非常に短く、申し訳程度だ。」

つまり、私が言いたいのはこうです。

私たちは、世界情勢を目にしています。数日前に、私がお伝えしたのを覚えていらっしゃるでしょうか？世には、二つの並行する線がある、と私は信じています。

① 一つは、私たちがコントロールする事の出来ない、世界情勢、

② そして、私たちがコントロールする事の出来る、私たちの人生です。

そして、我々が、自分の人生の中で下す決断が、世界の出来事の最中の、我々の居場所に影響します。ですから、エゼキエルが描写している戦争や、ダニエルが書いているような反キリストの興り、また、第二テサロニケに書かれている事、こういったことは、あなたが影響を及ぼすことも、止めることも、回避させることも、遅らせることも出来ないものです。これらは、聖書が「起こる」と予知している出来事です。私たちはそれを知っています。あなたに影響を及ぼすことが出来るのは、これらの事が起こった時に、あなたがどこにいるか、です。だから、指導者たちがした事、しなかった事で、彼らを批判しないのです。神は、その子どもたちに「備えをせよ」と言っておられるのだと思います。自分たちの指導者たち、自分たちの大統領、あなたの軍隊、あなたの政治家たちを攻撃する備えではなく、あなたの人生を備えるのです。あなたの人生、あなたがあなたの人生の中で下す決断、あなたの主との歩み方が、神が私たちを取り去りに来られた時の、あなたの居場所に影響するのです。これが、これら全ての事から、私たちが考えるべき事です。何に対しても、誰に対しても、批判したりバッシングしても、何の意味もありません。二日前の私のアップデートは、ソーシャルメディア全部を合わせて、視聴数が20万以上ありました。そして、物凄い数のコメントをいただきましたが、その中のいくつかは私には衝撃でした。

アメリカ人であることを、恥ずかしく思う人。

自分たちの大統領を恥だと言う人。

陰謀論に嵌っていく人。

皆さん、皆さんの指導者に敬意を払いましょう。あなたの国のために祈りましょう。そして、一つの事を覚えていてください。

- ① 今回の件に関して、トランプには他に選択肢がなかったのです。連合するなら、この三つの標的で落ち着く以外ありません。
- ② 皆さん理解しなければなりません。もし彼らが、サリンガスが置かれている建物を破壊していたなら、あちらではさらに大惨事を引き起こしていたのです。シリアの化学兵器武装解除は、空からは行えません。それは確かな事です。あなたにも分かるでしょう？それは、私にも分かります。
- ③ ご存知の通り、爆撃は、一週間近く前にメディアによって宣言されました。バッシュール・アサドは飛行機や化学物質を、至るところから避難させる時間があったのです。彼には時間があったのです。それなら彼は、確実にそれを行います。それに関しては、疑う余地はありません。

しかし、わたしが皆さん全員に言いたいことは、明確です。世界情勢を何か、自分たちの批判や投票によって影響が与えられるかのように、混同してはいけません。わたしが思うに、現在起こっている事は、信者たちに対する目覚ましコールです。これによって私たちは、主との歩みの中で自分はどの位置に立っているのかを、自問自答するのです。なぜなら、明らかにエゼキエル戦争は始まるのですから。

明らかにアメリカは、イスラエルを助けには来ないのですから。

明らかに「中東を去る、シリアを離れる」というのは、いずれアメリカが行なうことですから。それを止めることは出来ません。

マクロンはトランプに、留まるよう説得することは出来ません。もしトランプの政策が

「これ以上、中東にアメリカの資金も命も注ぎ込まない」

というのであれば、私は完全に受け入れます。完全に理解しますよ。

皆さん、私たちは世界の情勢を、世の住民の目線で見てはいけません。私たちはこれらを天の国籍目線で見なければなりません。私たちは、天の国籍を受け取っているのです。私たちはもはや、世の出来事に影響を及ぼさなければならない人のように、ここにはいないのです。ある人はこんな風に言いました。

「それなら、私たちの社会で、私たちがすべき事はどうなの？」

もちろん、皆さんはクリスチャンとしての信念を貫くべきですよ。

もちろん、どんな事であれ出来るなら、神を恐れることは、神を恐れない事よりも良いに決まっています。どこでも、広めることが出来るなら、どんどんすべきです。

しかし、中東でこれから起こる戦争など、ある事が起こるのをあなたに止められるとは、一瞬たりとも考えない方が良いです。

ですから、私の言いたいことは、実に明確です。シリアで起こった事に、私は驚きませんでした。事実、私が驚いたのは、105発のミサイルが発射される前の大きな雑音です。そのうちの66発はトマホーク、残りはB-1や他の戦闘機によって発射された巡航ミサイルでしたが。

ともかく、私の言いたいことは明確です。シリアで起こった事によって、聖書預言の成就がかなり近づいたのです。

ですから、それを批判するのは実に愚かな事です。わたしの言いたいことが分かりますか？つまり、要点は、神が私たち全員に言おうとされているのは、

- ① まず第一に、信者に対する励ましです。物事はバラバラに崩壊して行っているのではなく、然るべきところに収まりつつあるのです。
- ② 第二に、これは警告ですよ。神がイエローカードを出しておられるのです。「備えをしろ、もし備えが出来ていないのなら、今がその時だ。」と。

それだけです。それが全てですよ。これが本質です。

ところで、何故私はインターネットで物事を報道しているのか？私は、報道などしていませんよ。私は報道機関ではありませんから。もちろん、私にはたくさんのコネがありますよ。もちろん、私がインターネットライブでお伝えする時は、私が知っている、非常に良質の情報を基に行なっていますよ。しかし私は、報道機関ではありません。

私の狙いは、皆さんに世界情勢に関するより良い知識を提供する事ではありません。

私の狙いは、皆さんにもっとイエスを良く知っていただく事です。

私の狙いは、皆さんにもっと主に近づいてもらうこと、

私の狙いは、私たちの周りで起こっている混乱、騒動によって、皆さんが信仰を失わないように、疲れてしまわないように、皆さんを励ますことです。

現在、アメリカとイギリスでサイバー攻撃が起こっています。これで終わると思いますか？もちろん、終わりません。ロシアは侮辱を感じていますし、イランは数日前にイスラエルによって殺害された11人の兵士の復讐を誓っています。中東はこの攻撃の後、比較的穏やかになったり、良くなったり、比較的平和にもなっていません。それどころか、むしろ更に緊張が高まったのです。さらに怒りが増しています。

この全てから、私が言いたいのは、——私は中東に住んでいます。現在、エルサレムにいます。私は自分の町にいて、平安を感じています。私は安全だと感じていますし、守られていると感じています。何故でしょう？それは、私たちの軍隊や政府のためではなく、私は、私を贖う方は生きておられると知っているからです。そして私は、私がどこへ行くのかを知っています。

覚えていてください。

あなたが、どこから来たのかは関係ないのです。

大事なのは、あなたがどこに向かっているのか。

あなたの始まりが、どんなふうだったかは関係ありません。

大事なのは、あなたがどのように終わるかです。

ですから、私たちは覚えていなければなりません。私たちは、競走を走るのです。競走を忍耐して走るのです。道中、今回のような凹凸がたくさんあるでしょう。私たちは覚えていなければなりません。世界情勢を見る時、私たちは二歩下がって全体像を見るのです。そして私たちはひざまずいて、私たちの後ろの世のために祈らなければなりません。これらはリアルである事、神の御言葉は信頼でき、本物で、確かであることを、彼らが理解するように。

今日、私の仲の良い友人から聞かれました。彼は主への信仰告白も何もしていませんが、ただ彼は聞いて来たのです。

「アミール、これからどうなると思う？」

だから私は言いました。

「わたしの意見は知っているだろう？これから南に来るよ。」

すると彼は、

「それなら、その結果はどうなると思う？」

と聞くので、私は言ったのです。

「何故、私に聞くんだい？エゼキエルという人に聞けば良いんだ。」

彼は実にインテリで、本を執筆しているだけでなく、何が起きているのか、よく知っているのです。その彼が

「エゼキエルって何だ？」

と言うので、

「預言者エゼキエルだよ。」

と言いましたら、彼は、彼の著書に書きました。

「今日の新聞よりも、正確なものがある。」

皆さん全員にお伝えします。まず第一に、いさかいをせず、不平を言わず、あなたの政府や大統領を批判せず、むしろ祈りましょう。あなたの国の救いのために祈りましょう。今日、私が読んだ記事に書いてありましたが、アメリカの中で、毎週バイブルスタディが行なわれていて、少なくとも10人の国会議員が定期的に参加しているそうです。私は、現在目にしていることにとっても励まされています。私は最近の攻撃を、大喜びしているわけではありませんが、同時に、トランプ大統領には、国内外のパートナーたちによって設けられた制限、縛りがある事も、私は理解しています。

けれども皆さん、結論はこうです。イスラエルは単独で戦うことになるかと分かっています。

「イスラエルは単独で戦う」

と、神がエゼキエルに言われたのです。また神は、エゼキエルに言われました。

「心配しなくとも良い。その時は、わたしが彼らを助ける。ほかのどの国も賞賛を受けないために。」

ですから、私は状況を見て、怒ったりしていません。イラついてもいません。

私は超励まされています。超、超、励まされています。

といっても、私は爆撃を求めているわけでもなく、戦争を求めているのでもなく、混乱を求めているのでもありません。

しかし、イランが平和を愛する政権だと思いますか？

彼らが来週、ノーベル平和賞をもらうとでも思いますか？

彼らは、テルアビブとハイファを更地にする、と誓ったのをご存知ですか？イランの司令官が、今朝言ったことをご存知ですか？

「イスラエルを滅ぼす日は、定められている。」

皆さん、理解していますか？彼らは既に、日を決めているのです。

私が恐れていると思いますか？皆さんに一つ言っておきますよ。

あなたも聖書を読めば、誰が恐るべきなのか分かりますよ。

私が最後に調べた時には、神が、私の国を救い出してくださり、彼らの国は完全に滅ぼされる、とありました。

ですから皆さん、どうか正しい視点で見てください。

「Behold Israel/見よ、イスラエルを」

ミニストリーの名前は、「ニュースを見よ！」ではありません。

「イスラエルを見よ！」です。

この国は、イラン・ロシア・トルコが滅ぼされて後も、ずっと残るのです。

これが神の御言葉です。

私は、神の御言葉にかけますよ。

私は、モスクワやテヘラン、アンカラの嘘つきどもは信じません。

私は、私の生ける神を信じます。私は、私を贖う方は生きておられる、と信じています。

だから、皆さん全員を励ましたいのです。それから、このメッセージを出来る限り多くの人にシェアしていただければと思います。世界情勢は、起こるようになっています。あなたにそれを止めることは出来ません。

しかし、あなたには自問することは出来るのです。平行線の内、世界の動きは変えられませんが、もう一本の線、自分の人生は、私に変えることが出来ます。ただ私がいのちを選べば、もし私がイエスに従うことを選べば、私にはそれを変えることが出来る。それだけです。

イエスはマルタに言いましたね。

25 「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。

26 また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。…

(ヨハネ 11:25~26a)

それから彼は、問いかけます。

26 …このことを信じますか？」

(ヨハネ 11:26b)

イエスがいのちであり、よみがえりであるかどうかの問題ではなく、イエスにあって死んだ者がよみがえるのかどうか、生きて残っている者が引き上げられるかどうかの問題でもありません。問題は「あなたはこのことを信じますか？」イエスはマルタに、この100万ドルの質問をしたのです。

「あなたはこのことを信じますか？」

ですから、世界情勢の観点から、皆さんにお伝えします。

神は今日、あなたの注意を引こうとしておられるのです。

「あなたは信じますか？」問題は、そこです。

「あなたは、これを信じますか？」

ここ、エルサレムより、皆さんにお伝えします。

皆さんを励まします。

神が支配しておられます。

ですから、今までになかったほどに、彼を信頼してください。

そして、ご自分に問うてください。

「私は、神との人生を生きているか？それとも、神無しで生きているか？」

あなたは、主に従っていますか？

イエスは、あなたの主の主、王の王ですか？

あなたは、新生していますか？

あなたは、御霊に満たされていますか？

あなたは、あなたには永遠のいのちがあるかどうか、知っていますか？

もし明日、主が私たちを取り去るために来られたとして、あなたも取り去られるかどうか、分かりますか？

これが問題です。

そして、現在起こっている全ての事から、私は皆さんに励ましの言葉をかけたかったのです。これから、さらに多くの事が起こりますよ。私は出来る限り、皆さんにそれをお伝えします。しかし私の報告は、ニュース報道ではありません。わたしが伝えるのは、

「あなたはこれを信じますか？」

神は、あなたの町にも、さらに多くの人を備えてくださっている、と私は心の底から信じています。ちょうど神が、パウロに夢の中で、コリントについて言われたように。悪に満ちたコリントです。

9 …「恐れなくて、…

10 この町には、わたしの民がたくさんいるから」…

(使徒 18:9~10)

神は今日でさえ、あなたの事を使いたいのです。神は、あなたの家族、職場、学校、町、あなたの国には確実に、神

の民を置いておられるからです。たくさんの神の民がいるのです。それは、あなた次第です。

テサロニケで、「この人たちは、世を騒がしている！」とパウロとシラスが非難されたのと同じように、あなたも福音で世を騒がせた方が良いでしょう！

16 …福音は、ユダヤ人をはじめギリシャ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。

(ローマ 1:16)

ありがとうございます。このメッセージを拡散してください。

希望のメッセージ、励ましのメッセージ、そして、チャレンジのメッセージです。

ありがとうございます。エルサレムより、I love you all! God bless you!

シャローム。さようなら。

…まだ消えていません！(笑)

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>